

シンポジウム

東京を支える鉄道・航空における サイバー攻撃への対策 ～2020年に向けて～

平成29年3月2日 海運クラブ 2階ホール

主催：一般財団法人運輸総合研究所

後援：サイバーセキュリティ戦略本部、国土交通省

協力：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

■概要

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定したが、オリンピック・パラリンピックは過去に幾度となくテロの標的となっており、爆破事件などのリアルテロのほか、前回のロンドン大会では大規模なサイバー攻撃もあったと言われている。一方、開催地である東京の街は、鉄道を中心とした公共交通機関が発達しているほか、オリンピック・パラリンピック開催期間中は訪日外国人が利用する航空分野も重要な輸送手段となる。この鉄道・航空分野が、近年急増しているサイバー攻撃の標的になることも十分に考

えられることから、運輸総合研究所ではその脅威や必要となりうる対策について平成27年度より調査研究を進めてきた。

本シンポジウムでは、2年間の研究成果を、情報セキュリティ大学院大学の田中英彦学長や東京大学大学院古閑教授、情報セキュリティ大学院大学大久保教授よりご報告いただいた。また、日本のサイバーセキュリティの第一人者である名和利男氏や海外の専門家2名を招聘し、サイバーセキュリティの実態や海外企業におけるサイバー攻撃への対策についてご講演いただいた。パネルディスカッションでは、講演者に加え、内閣

官房や国土交通省のサイバーセキュリティの担当者も交え活発な議論が行われた。



名和利男



田中英彦



パネルディスカッション

プログラム

主催者挨拶	黒野 匡彦	一般財団法人運輸総合研究所会長
来賓挨拶	武藤 浩	国土交通省事務次官
来賓挨拶	古宮 正章	公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会副事務総長

講演1	国家が関与するサイバー攻撃を理解するための状況把握
	名和 利男 株式会社サイバーディフェンス研究所専務理事/上級分析官

研究報告	東京オリンピック・パラリンピックに向けた交通機関へのサイバーテロ対策に関する調査研究
	田中 英彦 情報セキュリティ大学院大学学長
	古関 隆章 東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻教授
	大久保隆夫 情報セキュリティ大学院大学情報セキュリティ研究科教授

講演2	フランス国鉄におけるサイバーセキュリティについて
	ジル・ベルトロ フランス国鉄情報セキュリティ最高責任者

講演3	ボーイング社におけるサイバーセキュリティについて
	ロナルド・ロベス ザ・ボーイング・カンパニー ネットワーク&スペースシステムズ 国際ビジネス開発アジア太平洋地区担当ディレクター

パネルディスカッション:2020年に向けた交通分野に求められるサイバーセキュリティについて

チェアマン	大久保隆夫	情報セキュリティ大学院大学情報セキュリティ研究科教授
コーチェアマン	古関 隆章	東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻教授
パネリスト	ジル・ベルトロ	フランス国鉄情報セキュリティ最高責任者
	ロナルド・ロベス	ザ・ボーイング・カンパニー ネットワーク&スペースシステムズ 国際ビジネス開発アジア太平洋地区担当ディレクター
	名和 利男	株式会社サイバーディフェンス研究所専務理事/上級分析官
	三角 育生	内閣官房内閣審議官内閣サイバーセキュリティセンター副センター長
	竹田 浩三	国土交通省大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官

閉会挨拶	春成 誠	一般財団法人運輸総合研究所理事長
------	------	------------------

